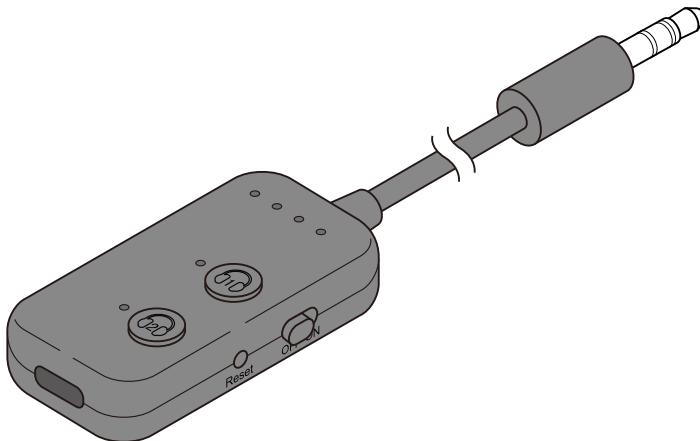


## Bluetooth® トランスミッター 取扱説明書

LBT-ATR02BK



この度は当社商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。この取扱説明書はBluetoothトランスミッターの使用方法や、安全に取り扱いいただくための注意事項などを記載しています。本書の内容を十分にご理解いただいた上で本製品をお使いください。

### パッケージ内容の確認

本製品のパッケージには以下のものが含まれています。お使いになる前にパッケージの内容を確認してください。

- トランスミッター本体 ..... 1台
- USB充電ケーブル ..... 1本



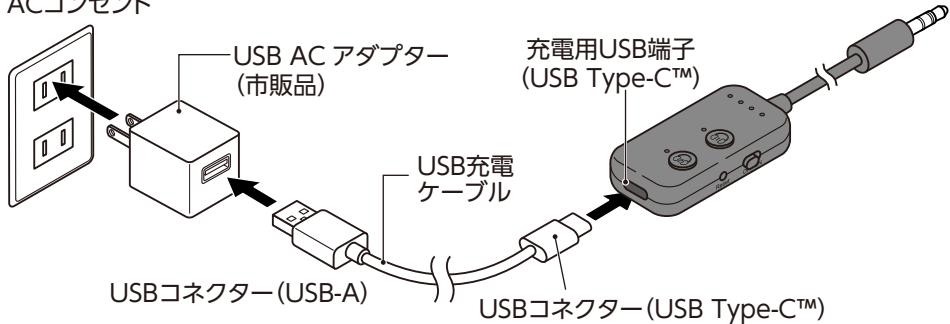
# 充電のしかた

本製品をご使用になる前に、充電が必要です。

本製品の充電には付属のUSB充電ケーブルを使用します。

本製品にUSB充電ケーブルを下図のように接続します。

ACコンセント



## 充電について

- ※ 充電時間は、接続するUSBポートの出力によって異なります。
- ※ 本製品は、満充電後、使用せず放置しているだけでも自然放電しています。  
長期間使用しなかった場合、上図を参照して再充電してください。
- ※ 本製品は充電しながら、使用することができます。
- ※ 付属のUSB充電ケーブルは本製品専用です。他のUSB充電ケーブルを使用しないでください。

## 充電状態の動作

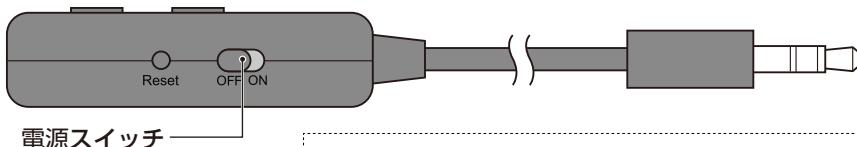
バッテリーインジケーターの点灯状態でバッテリー残量およびバッテリー充電状態を表示します。

充電状態	バッテリー残量表示	バッテリー充電表示
満充電/充電完了	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○
80% 以上	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ●
50% 以上 80% 未満	○ ○ ○ ●	○ ○ ● ●
20% 以上 50% 未満	○ ○ ● ●	○ ○ ● ●
20% 未満	○ ● ● ●	○ ● ● ●

※ 満充電になるには、約2時間かかります。



## 電源オン／オフ



電源オン：ON側にスライド

バッテリーインジケーター：白色5秒点灯

電源オフ：OFF側にスライド



## ペアリング(登録)方法

### ■ テレビ、オーディオ機器、ゲーム機で使用の場合

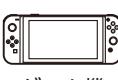
送信用機器



テレビ



オーディオ  
プレーヤー



ゲーム機

受信用機器



Bluetooth  
イヤホン

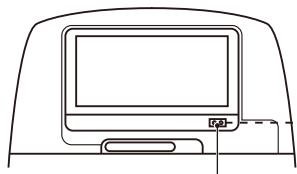


Bluetooth  
スピーカー

φ3.5mm  
ステレオプラグ

### ■ 航空機内で使用の場合

送信用機器



航空機のφ3.5mm  
ステレオジャック

受信用機器



Bluetooth  
イヤホン

φ3.5mm  
ステレオプラグ

本製品を使用するためには、受信用機器(Bluetooth イヤホンなど)とペアリング(本製品を機器に初期登録する操作)を行う必要があります。

受信用機器側の操作については、そちらの機器の取扱説明書をご覧ください。



# ペアリング(登録)方法

**1** 送信用機器(テレビなど)に本製品を挿し込みます。

**2** ペアリングする受信用機器(Bluetooth イヤホンなど)をペアリングモードにします。

※ 本製品の1m以内で操作をしてください。

※ 受信用機器をお手持ちのスマートフォンなどと接続済みの場合、スマートフォン側のBluetoothをオフにしてください。

**3** 電源 ON の状態で製品とペアリング登録したいほうの番号のペアリングボタンを1秒間押します。

ボタン横の接続表示LEDが赤と青で交互に点滅します。



- すでに接続した受信用機器がある場合は、最後に使用した受信用機器を検索して自動的に接続されます。
- 接続された受信用機器がない場合は、新しく受信用機器を検索します。

**4** しばらく待つと、自動的に受信用機器と本製品がペアリングされます。

接続が完了するとボタン横の接続表示LEDが青で点灯します。



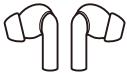
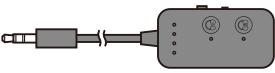
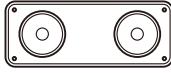
- 接続機器との通信が途切れるなど接続が解除されると、非接続状態に移行します。非接続状態のまま再接続されない場合、約5分で自動的に電源がオフになります。

**5** 送信用機器で音楽を再生すると、受信用機器で音楽などを聞くことができます。

**!** ペアリング後、送信用機器によっては大音量で再生される場合があります。そのまま使用すると聴力に悪影響を与える場合があるので、送信用機器側で適切な音量に調節してから使用してください。

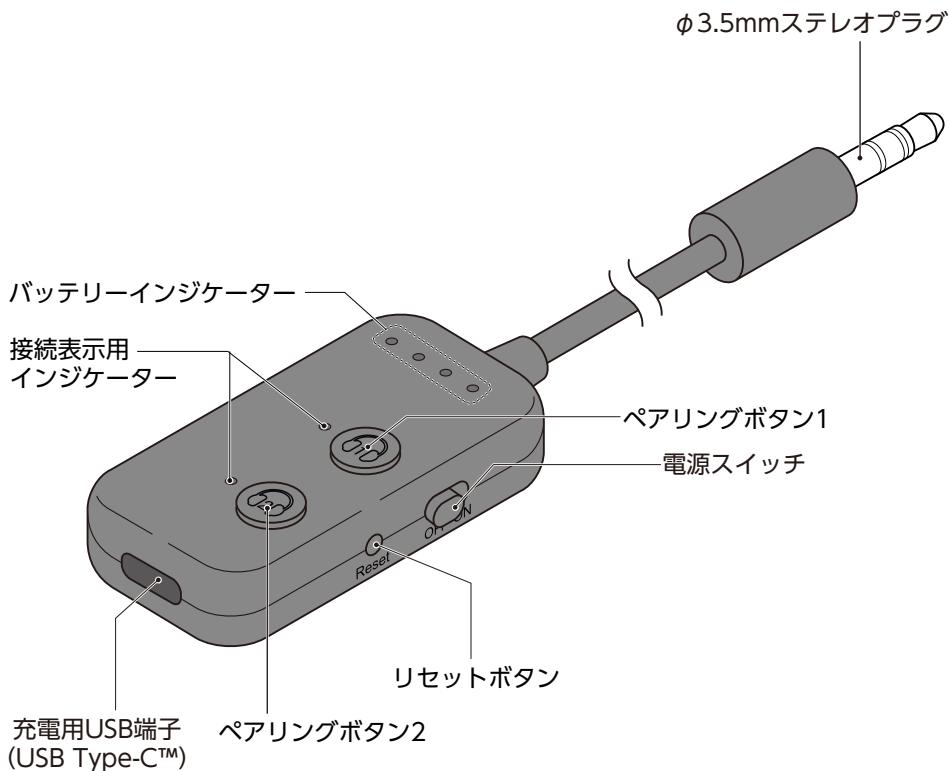


## 2台の受信用機器のペアリング

	1台目 Bluetoothイヤホン 	本製品 	2台目 Bluetoothスピーカー 
1	①1台目の機器をペアリングボタン1で ペアリングし、接続する。  1台目と接続		
2		②2台目の機器をペアリングボタン2で ペアリングし、接続する。  2台目と接続	
<p>※ペアリング方法は「ペアリング(登録)方法」を参照。</p> <p>※ペアリング方法は「ペアリング(登録)方法」を参照。</p>			<b>本製品と2台の受信用機器が接続する</b>



## 各部の名称



## 動作仕様一覧

	機器・状態	操作	LED ランプの状態
 <b>電源</b>	電源オン	電源スイッチをON側へスライド	バッテリーインジケーター：5秒間4個白点灯
	電源オフ	電源スイッチをOFF側へスライド	—
 <b>接続</b>	ペアリングモード	ペアリングボタン1か2を1秒間押下	接続表示インジケーター：赤 ⇄ 青交互点滅
	ペアリング完了(接続状態)	—	接続表示インジケーター：青点灯
 <b>充電</b>	バッテリー残量不足	—	バッテリーインジケーター：1個白点滅
	充電中	—	バッテリーインジケーター： 1個白点滅 25%未満 1個白点灯・1個白点滅 25%～50%未満 2個白点灯・1個白点滅 50%～75%未満 3個白点灯・1個白点滅 75%～100%未満
	充電完了	—	バッテリーインジケーター：4個白点灯
<b>その他</b>	本製品のリセット※1	リセットボタンを10秒間以上長押し	リセット完了後 接続表示インジケーター：赤 ⇄ 青交互点滅

※1 リセットは、本製品と接続機器がペアリングできない、動作が不安定と感じた場合にお試しください。

・接続機器やアプリケーション、OS、通信環境などお客様のご使用環境により異なる場合があります。

## 基本仕様

製品型番	LBT-ATR02BK
電源電圧	DC 5V
通信方式	Bluetooth 標準規格 Version 5.3
出力	Bluetooth Power Class1
対応 Bluetooth プロファイル	A2DP (音楽機能)
A2DP の対応コーデック	SBC
最大登録可能台数	8 台
充電時間	約 2 時間 ※1
連続再生最大時間	約 20 時間 ※2
外形寸法 (幅×奥行×高さ)	約 26 ×約 14 ×約 115 mm
質量	約 15.5 g
動作環境	温度 / 湿度 5 ~ 35°C / 20 ~ 80% RH(ただし結露なきこと)

# 困ったときは・・・

## 電源が入らないとき

本製品が充電されているかどうかを確認してください。充電されていない場合は、本製品を充電してください。

## ペアリングができないとき

Bluetooth搭載機器とペアリングできない

- 接続機器側のBluetooth機能が使用可能な状態であることを確認してください。
- ペアリングが完了しない場合は、再度ペアリングモードにして設定する必要があります。
- ご使用の機器が本製品のプロファイルに対応しているかを確認してください。
- リセットを試してください。リセットの操作方法は「[動作仕様一覧](#)」をご確認ください。リセットすると接続された機器情報が消去され、自動的にペアリングモードになります。
- 接続機器から本製品の登録情報を削除(または解除)し、再度ペアリング(初期登録)からお試しください。

## 聞こえないとき

- 送信用機器のφ3.5mmオーディオジャックに本製品のφ3.5mmオーディオプラグが正しく接続されていることを確認してください。
- 本製品とペアリングができない可能性があります。その場合はリセットをお試しください。

## Bluetoothの通信が途切れやすいとき

本製品に対して、すべてのBluetooth機器の動作を保証するものではありません。また次の環境下の場合は、Bluetooth通信が途切れてしまう場合があります。

- 本製品と接続機器の間に人体がある場合
- 本製品と接続機器の間に金属や壁などの障害物がある場合
- 周辺でBluetooth機器が多く接続されている場合
- 2.4GHz帯を使用する無線LAN（IEEE802.11g/b/n）機器などの近くや電子レンジ使用中の周辺
- USB3.0のケーブルを使用した環境（外付HDDなど）が近い場合

それらの環境下に当たる場合は通信が途切れてしまうことがあります。その場合は、それらの環境下になるべく当たらない状況で、本製品と接続機器を近づけて、ペアリングや接続ができるかをお確かめください。

このような症状は製品の異常ではありませんので、電波状況の悪くない場所に移動すれば発生しにくくなります。

## 充電ができないとき

充電端子をきれいにしてください

本製品の充電端子に汚れなどが付着すると、充電ができなくなる場合があります。汚れが付いたら乾いた綿棒などで、拭き取ってください。

# 安全上のご注意

■本製品を安全に正しくご使用いただき、事故/トラブルを未然に防止するために、以下を必ずよくお読みください。お読みになった後は、いつでも見られるところに保管してください。

	記号は禁止の行為であることを表しています。
	記号は注意(警告を含む)を促す内容であることを表しています。
	記号は強制を表しています。

## 警告

ここに記載された事項を無視すると、使用者が死亡または障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。

### ● 車の運転中には使用しないでください

車の運転中には本製品を使用しないでください。また、歩行中でも、駅のホームや交差点、工事現場などでは本製品の使用を中止し、周囲の状況をよくご確認ください。



### ● 万が一、異常が発生したときは

本製品から異臭や煙が出たときは、ただちに使用を中止し、電源を切り、充電中の場合は、付属のUSB充電ケーブルをUSB ACアダプターなどのUSB電源から抜いてください。その後は本製品をご使用にならず、エレコム総合インフォメーションセンターにご相談ください。



### ● 高温のまま放置しないでください

本製品は精密な電子機器です。高温、多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。車の中には絶対に放置しないでください。本製品を高温の車内に長時間放置しておくと、内部電池の破裂・発火・故障の原因となり大変危険です。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。



### ● 充電が終わったら、必ず充電ケーブルを取り外してください

また、必要な充電時間を終えて充電が完了しない場合も、一旦充電ケーブルを取り外してください



所定の充電時間を超えて充電した場合、内部電池が発熱・発火・破裂する危険性があります。また、電池寿命に影響を与える場合があります。

### ● 着信音量の設定には十分気をつけてください

スマートフォンと接続して使用しているときに、着信音に驚いて事故の原因となったり、心臓に影響を与える恐れがあります。



### ● 分解しないでください

本書の指示に従って行う作業を除いては、自分で修理や改造・分解をしないでください。感電や火災、やけど、けがの原因になります。



### ● 接続に使用するコードを傷つけないでください

火災や断線の原因となります。



### ● 病院内などでは使用しないでください

高度な安全を要求される場所では絶対に使用しないでください。特定医療機関の計器類などの誤動作の原因になります。



## ⚠ 注意

ここに記載された事項を無視すると、けがをしたり物的損害を負う恐れがある項目です。

### ● 屋外で使用する際は、周りの安全に十分に注意してご使用ください

外で使用する際は、周りの状況がわかるように音量を適度に調節してご使用ください。



### ● 水気の多い場所での使用・保管はしないでください

本製品内部に液体が入ると、故障、火災、感電の原因となります。

充電用端子に汗や水が付着した場合は、ご使用後すみやかに拭き取ってください。



### ● 本体は精密な電子機器のため衝撃や振動の加わる場所、強い磁力の発生する場所、静電気の発生する場所などでの使用・保管は避けてください



### ● 接続機器の取扱説明書の指示に従ってください

本製品は、スマートフォンなどと無線通信による使用が可能ですが、接続先の機器により設定方法や注意事項が異なります。ご使用の際はこれらの機器の取扱説明書をよく読み、注意事項に従ってください。



### ● 定期的に充電してください

本製品を長期間使用しない場合でも、1ヶ月に1度を目安に充電してください。  
バッテリーが膨張したり、劣化の原因となります。



### ● 日本国以外では使用しないでください

本製品は日本国内専用です。国外では独自の安全規格が定められており、それらの規格に適合することは保証いたしかねます。また、海外からのお問い合わせに関しても一切応じかねます。



## ⚠ 電波に関する注意

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器の他、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)が運用されています。

- この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- 一方で、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、エレコム総合インフォメーションセンターにご連絡いただき、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
- その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことがございましたら、エレコム総合インフォメーションセンターまでお問い合わせください。

使用周波数帯域：2.4GHz

変調方式：周波数拡散方式 FHSS(Frequency Hopping Spread Spectrum)

想定干渉距離：約10m

周波数変更の可否：全帯域を使用し、かつ「構内無線局」「特定小電力無線局」帯域を回避可能

 ☎ 222-250004

### ■ 内蔵バッテリーについて

バッテリーは、正常に使用した場合でも劣化する消耗部品です。バッテリーの消耗は、特性であり故障ではありません。また、バッテリーの交換はできません。

● 本製品を使用せず、長期間保管していた場合、バッテリー性能は低下します。何回か充放電を繰り返すと回復します。

● 周囲温度が低い環境では、持続時間が短くなります。

### ■ 廃棄について

本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。条例の内容については各地方自治体にお問い合わせください。

本製品には、リチウムイオン電池（Li-ion）が使われています。

# ユーザーサポートについて

## 選べる！充実サポート



### LINE チャットでサポート

LINEアプリから  
友だち追加でかんたんに  
チャットでお問い合わせ！



### Web チャットでサポート

ブラウザからでも  
会員登録なしにお気軽に  
ご相談いただけます。

チャット  
サポートは  
QR  
からアクセス！



※LINEおよびLINEヤフーロゴは、LINEヤフー株式会社の登録商標です。

## 商品に関するお問い合わせは

エレコム総合インフォメーションセンター

TEL.0570-084-465 FAX.0570-050-012

受付時間／10:00～19:00 年中無休

エレコム株式会社は、日本以外の国でのご購入、ご使用による問い合わせ、サポート対応はいたしかねます。

商品交換は保証規定に沿って対応いたしますが、日本以外からの商品交換は対応いたしかねます。

In "ELECOM CO., LTD. (Japan)", no customer support is available to inquiries about purchases or usage in/from any other countries than Japan.

Replacement will be made under stipulation of the Elecom warranty, but not available from outside of Japan.

# 保証規定

## ■保証期間

1年間

## ■保証対象

保証対象は本製品の本体・本製品の動作に起因する部分のみとさせていただきます。取扱説明書および消耗品は対象外です。

## ■保証内容

- 弊社が定める保証期間(本製品ご購入日から起算されます。)内に、適切な使用環境で発生した本製品の故障に限り、無償で本製品を修理または交換いたします。

※保証期間を超過している場合、有償となります。

## ■無償保証範囲

- 以下の場合には、保証対象外となります。

- (1) 購入証明書および故障した本製品をご提出いただけない場合。  
※購入証明書は、購入日、購入店、型番が確認できるもの(レシート・納品書など)を指します。
- (2) 購入証明書に偽造・改変などが認められた場合。
- (3) 中古品として本製品をご購入された場合。(リサイクルショップでの購入、オークション購入での中古品を含む)
- (4) 弊社および弊社が指定する機関以外の第三者ならびにお客様による改造、分解、修理により故障した場合。
- (5) 弊社が定める機器以外に接続、または組み込んで使用し、故障または破損した場合。
- (6) 通常一般家庭、一般オフィス内で想定される使用環境の範囲を超える温度、湿度、振動などにより故障した場合。
- (7) 本製品を購入いただいた後の輸送中に発生した衝撃、落下などにより故障した場合。
- (8) 地震、火災、落雷、風水害、その他の天変地異、公害、異常電圧などの外的要因により故障した場合。
- (9) 接続されている他の機器に起因して、本製品に故障、損傷が生じた場合。
- (10) ソフトウェア(ファームウェア、ドライバ他)のアップデート作業によって故障、障害が生じた場合。
- (11) 本製品の、パッケージ、取扱説明書、ならびに弊社ホームページ内などに記載の使用方法、および注意に反するお取り扱いによって生じた故障、損傷の場合。
- (12) その他、無償修理または交換が認められない事由が発見された場合。

## ■修理

- 修理のご依頼は、購入証明書をお買い上げ頂いた製品一式(付属品、セット品含む)に添えて、お買い上げの販売店にお持ちいただきか、弊社修理センターに送付してください。
- 弊社修理センターへご送付いただく場合の送料はお客様のご負担となります。(返送時の送料は弊社が負担いたします。)また、ご送付いただく際、適切な梱包の上、紛失防止のため受渡の確認できる手段(宅配や簡易書留など)をご利用ください。なお、弊社は運送中の製品の破損、紛失については一切の責任を負いかねます。
- 同機種での交換ができない場合は、保証対象製品と同等またはそれ以上の性能を有する他の製品と交換させていただく場合があります。
- 保証期間内にて修理、交換により交換された、旧部品または旧製品などは返却いたします。
- 記憶メディア・ストレージ製品において、修理センターにて製品交換を実施した際にはデータの保全は行わず、全て初期化いたします。記憶メディア・ストレージ製品を修理に出す前には、お客様ご自身でデータのバックアップを取っていただきますようお願いいたします。
- 修理期間中における代替機および貸出機のご用意はございません。

## ■責任事項

- 本製品の故障について、弊社に故意または重大な過失がある場合を除き、弊社の債務不履行および不法行為などの損害賠償責任は、本製品購入代金を上限とさせていただきます。
- 本製品の故障に起因する派生的、付隨的、間接的および精神的損害、逸失利益、ならびにデータ損害の補償などにつきましては、弊社は一切責任を負いかねます。
- データを取扱う際には自己責任において、必ず定期的なバックアップを取ってください。本製品の故障または使用によって生じた、保存データの消失、破損などについては一切保証いたしません。

## ■有効範囲

- この保証規定は、日本国内においてのみ有効です。エレコム株式会社は、日本以外の国でのご購入・ご使用による問い合わせ・サポート対応はいたしかねます。

This warranty is valid only in Japan. In "ELECOM CO., LTD. (Japan)", no customer support is available for enquiries about purchases or usage in/from any countries other than Japan.

- ※イラストはイメージです。実際の商品とは異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ※本書の著作権は、エレコム株式会社が保有しています。
- ※本書の内容の一部または全部を無断で複製／転載することを禁止させていただきます。
- ※本書の内容に関するご意見、ご質問がございましたら、エレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡願います。
- ※本製品の仕様および外観は、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- ※本製品を使用したことによる他の機器の故障や不具合等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- ※本製品のうち、戦略物資または役務に該当するものの輸出にあたっては、外為法に基づく輸出または役務取引許可が必要です。
- ※USB Type-C and USB-C are trademarks of USB Implementers Forum.
- ※その他本書に記載されている会社名・製品名等は、一般に各社の商標ならびに登録商標です。

Bluetooth トランスマッター  
LBT-ATR02BK 取扱説明書  
2025年7月初版

**ELECOM**

© 2025 ELECOM CO., LTD. All Rights Reserved.